

平成29年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
4 安全・安心まちづくり事業								
19	継続	麻生区安全・安心まちづくり事業	1,971,000	1,793,275	危機管理担当	・社会情勢に即応した課題を共通認識し、住民・地域団体・事業者・行政機関等の連携及び協働により、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。・死亡事故に直結することの多い自転車事故を回避するための判断力向上を目的に、事故の瞬間、現場を目で見て学ぶ「スクエアドストレート交通安全教室(スタントマン)による自転車事故の再現」を実施する。・増加傾向にある高齢者の事故防止のため、民間自動車教習所で高齢者が安全な交通運転技術を習得する「シルバードライビングスクール」を実施する。	・ハトール用品の貸与及び効果的・効率的なハトールの実施に関する研修会を行うことなど、地域における安全への取組に対し支援を環境を整備した。 ・麻生区メール配信システムの登録促進、迅速な情報提供を行い、身近な犯罪に対する対応力の強化を図った。 ・スクエアドストレート、交通安全教室、シルバードライビングスクール実施により、交通事故防止を図った。	振り込み詐欺などの特殊詐欺といった身近な犯罪や高齢者・自転車の交通事故が増加しており、それらへの対応が引き続き重要です。一方で、「かわきき防犯アプリ」の運用開始やシルバードライビングスクールと同様の内容が高齢者の運転免許更新時の講習に導入される等、周辺環境も変化しています。そのため、事業目的や方向性は維持したうえで、見直し・改善を行い事業を継続してまいります。
20	継続	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	902,000	847,800	地域振興課	区民から好評を得ている麻生区ガイドマップを、最新の情報に更新し、改訂版を発行する。配布方法は、転入者に転入時に配布することを中心に、区役所窓口にて必要な方に配布する。転入者に知ってもらいたい、放置自転車等放置禁止区域、路上喫煙禁止重点区域の掲載や、転入者が転入して不安のないよう、災害緊急時の井戸の所在地や避難所一覧など防災情報も盛り込むなど、地図情報だけでなく、麻生の各種情報を盛り込んだものとする。	・麻生区ガイドマップの改訂・発行 ・区ホームページの地図データの更新	地図を中心とした区内の情報は特に転入者にとって必要性が高く、今後も継続して事業を実施し、さらに区の魅力発信も含めた内容の改訂や事務改善についても検討していく。
21	継続	麻生落書き消し事業	100,000	76,387	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺並びに百合ヶ丘駅及び相生駅周辺等を中心とした落書き消しを実施し、駅周辺の美化と犯罪防止を目指す。また、町会・地区の要請による「出前落書き消し」を実施し、落書き消しのノウハウを伝え、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進していく。	・区内駅周辺及び小田急多摩線沿線道路を中心とした一斉落書き消しの実施 ・町内会・自治会など地域の要請に応じた「出前落書き消し」の実施	これまで継続して実施してきた落書き消しの活動により、事業開始当初より落書きが減少しており、今後も地域の美化・犯罪防止に向けて事業を継続する必要がある。今後は、より広く参加者を募りながら、落書き消しの普及啓発活動を一層促進していく。
22	継続	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	1,007,000	674,141	危機管理担当	交通安全、犯罪に巻き込まれないことを目的に、平成23年度から小学校区ごとに交通・防犯上の危険箇所を把握し、マップを制作している。事業を開始した平成23年度及び平成26年度に続き、平成29年度は3年ぶりの改訂を行い、改訂版マップを1年生から3年生までに配布する。平成30年度及び31年度は4月に入学する新1年生用に必要部数を増刷し配布を行う予定。	麻生区交通安全委員の会が各校区内で子ども達に注意してもらいたい場所を選び、当該箇所の写真撮影や地図に掲載するコメント作成を行った。また、麻生警察署から交通事故や事件発生箇所の情報提供を受けてマップの改訂に反映させた。各校の在校生数や区民課が把握している新入学児童数の情報を参考に、適正な部数を印刷し、完成したマップを平成30年3月に各小学校へ配布した。	平成29年度は3年に一度の全面改訂を行い、小学1～3年生にマップを配布しました。30・31年度は、今回の改訂の成果を活用して1年生配布分の増刷を行います。関係部署が把握している各小学校の新入学児童数の情報から適正な部数の把握に努め、効率的な事業運営を行います。
23	継続	地域防災力の向上事業	3,012,000	2,501,659	危機管理担当	帰宅困難者対策や避難所対策の訓練を地域や関係部署と連携して行い、災害時対応の強化を図ると共に、事務局を担う自主防災組織及び災害対策連絡協議会への支援・連携により、共助体制の強化を図る。風水害時における避難所対応強化のためのマニュアル作成や必要物品の購入を進める。また、職員防災プロジェクトチームの運営により、職員の防災意識の向上と緊急時における行動の習得によって、災害対応の充実を図る。	帰宅困難者受入訓練の実施、避難所宿泊訓練の実施、非常用浄水装置の購入及び訓練の実施、職員防災プロジェクトチームメンバーの帰宅困難者受入訓練への参加及び研修の実施並びに風水害時を想定した避難所開設訓練の実施、自主防災組織及び避難所運営会議への支援の実施、各種研修会や各自立防災組織の防災訓練の場における自動的の重要性の広報及び啓発活動の実施、災害対策連絡協議会各部署における情報伝達訓練の実施。	地域防災力の向上のためには、事業を継続していくことが重要であるため、本部体制の充実のための購入品など一部を除き、少なくとも前年度と同様の水準を確保した事業執行が必要である。さらに、区ごとの防災訓練の実施など、区民が自発的に参加し防災への意識をより高めていく取組みを展開する必要があると考えている。
5 総合的な子ども・子育て支援事業								
24	継続	子育て支援・企画事業	3,415,000	2,945,309	地域ケア推進担当	地域の子ども関連機関や団体と連携し、情報交換、研修、相互協力を行うことにより、地域の実情に合った総合的な子ども・子育て支援事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●麻生区子ども関連ネットワーク会議 全体会・研修会、区民向け講座、子育てグループ交流会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・全体会を5月、11月、2月の年3回実施。研修会は11月に里親制度の研修会(23名参加)を実施した。区民向け講座としては、12月に親子防災講座を実施(18名参加)。また、7月に子育てサークル交流会を実施した(18名参加)。 ●子ども関連情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報誌の作成・配布(「きゅっとハグあさお」6,000部・「麻生区ちびっこおでかけMAP(2,500部)」等) ・ホームページ、子ども情報コーナー、かわきき子育てアプリの運用 ●子育てグループへの活動支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・麻生区子育て人材バンク(派遣件数85件103人) ・子育てグループ交流会(7月開催 18名参加) ●区民向け講座、イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・父親向け子育て連続講座(全3回)を2回実施。父と子向けイベント「パパとあそぼう! パワフルキッズ」を12月・1月に実施。 ・区民向け子育て講座を11月に実施。 ・イオンと連携し、各保育園職員による「親と子の遊びタイム」を毎月1回実施。 ・地域の次年度就学予定児童の交流を目的とした「GO GOキッズ」を年4回実施。 ●幼・保・小連携事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・代表者連絡会を4月、2月の年2回実施。園長・校長連絡会を6月に実施。実務担当者会議・研修を6月、10月、1月に実施。 ・幼稚園・保育園職員による小学校訪問を6月、11～12月に実施。また、幼稚園・保育園訪問を7～9月に実施。 ・新1年生向けリーフレットを各小学校あて送付し、11月の各校での就学児健診で全就学予定児に配布。 ●地域子育て支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・あさお子育てサポートほいえんの実施(保育相談、園庭開放、貸出絵本等) ・栄養士による食育講座を8回、相談会を7回実施。看護士による健康講座を3回、相談会を8回実施。 	今年度の実施結果を検証し、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行うとともに、地域全体で子育て世帯を支える子ども・子育て支援を推進します。
25	継続	こども関連大学連携事業	2,276,000	2,170,641	地域ケア推進担当	「麻生区・6大学 公学協働ネットワーク」に基づき、各大学の特色や資源などを活用した、総合的な子ども・子育て支援事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和音楽大学との連携事業(子どもと一緒のコンサート)10/1実施175組548名来場、交流コンサート12/3実施114名来場) ・和光大学との連携事業(夏休みファミリー体験学習in銀見川 8/5実施 58名参加) ・田園調布学園大学との連携事業(「あそぼう けろける田園チャイルド」)9/4・9/22実施、それぞれ34組・36組参加、「キッズアート田園」つらくら! みんなの夢の王国」)8/4実施、17組37人参加) ・日本映画大学との連携事業(こども映画大学8/16-19 40名参加) ・明治大学との連携事業(「アグリ・エコファーム体験in明大黒川農場」)10/30・11/10・12/11実施、それぞれ76・98・85名参加。「親子で体験アドベンチャー-玉川大学TAPセンター」)9/30実施、23組46名参加) 	今年度の実施結果を検証し、各大学とも調整を図りながら、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行い、広報手段の拡充なども含め、より効果的な子ども・子育て支援を推進します。
26	継続	外国籍等こども学習支援事業	549,000	549,000	地域ケア推進担当	外国につながる児童・生徒たちの学習を地域で支援するため、学校での個別の学習支援や地域拠点(市民館・こども文化センターなど)での集団学習支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区内の外国につながる児童・生徒に対して学校の授業中や放課後に個別指導を行った。 ・区内の公共施設等を利用して、委員の自由参加による集団支援を学校の長期休業中に実施したり、児童・生徒の親睦会を実施し交流を図った。 ・事業活動場所が学校内のため、学校支援センターと連携を図り実施した。 	毎年麻生区内の学校現場からの要望が増加(外国につながる児童・生徒の入学者数の増加のため。)しているが、団体の人数の関係ですべての要望に応えられないため、今後は新たなボランティアの養成及びさらなる質の向上を図るための研修を実施していく。
27	継続	こども相談・要保護児童支援事業	245,000	67,978	地域支援担当	0歳から18歳までの児童や子育てに関する様々な相談に対して、地域支援担当の複数の専門職が役割分担し、連携しながら対応しています。特に児童虐待の早期発見、早期対応においては、要保護児童対策地域協議会を軸に地域のネットワークを構築すると共に、必要に応じて、所内他部署や児童相談所、保育園、学校、地域教育センター、民生委員等とのカンファレンスや会議を開催し、課題解決に向けて支援を行います。また、職員への対応スキルの向上を図るため研修会を実施し、相談に活かしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会実務者会議(連携調整部会、代表者部会)を計14回、個別支援会議を計93回実施し、児童相談所や児童関係部署、機関との要保護児童等への対応や役割について協議し、連携体制の強化を図った。 ・児童関係機関や職員向けの研修会を計2回実施し、児童関係職員のスキルアップを図った。 	児童虐待の件数は年々増加しており、事業の必要性はあるが、児童家庭支援・虐待対策からの児童虐待対策強化推進費の経費活用や地域包括ケアシステム構築の中で子育て世代から高齢者の多世代交流を進めており、この多世代交流事業の機会を活用しネットワーク構築や啓発活動が図れるため、平成30年度事業廃止。
28	継続	あさお子育てフェスタ開催事業	851,000	742,125	地域ケア推進担当	子育ての不安や悩みを抱え孤立しないように、行政と地域の子育て支援団体等が協働して「子育てフェスタ」を開催する。必要な支援の情報を届け、地域団体とのつながりや子育て世代相互の交流の機会として、ストレスや悩みの解消につなげる。区内の様々な子育て支援施設等のアビールの場としても活用する。	<ul style="list-style-type: none"> 第4回あさお子育てフェスタを9月16日(土)に開催した。天候が悪く、午前中の出足が鈍かった。 ・来場者 約2,300人 ・参加団体 約80団体 	日頃から子育て支援を行う団体や地域の方の意見を取り入れながら企画検討を行い、内容の充実、参加者の利便性を図る必要がある。

平成29年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
6 コミュニティづくり事業								
29	継続	麻生区市民活動支援施設利用促進事業	2,530,000	2,374,834	地域振興課	麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」を麻生区における多目的な市民活動支援拠点として位置づけ、同施設の市民活動支援の推進を図ることを目的として実施する。	・開館10周年記念式典(7/13)、記念イベント「やまゆりDAY」(11/3)の開催、記念誌・記念動画の制作 ・市民活動団体交流イベント(2/11)、人材育成講座(アクティブシニアセミナー:1/14-2/18)等の実施 ・地域ネットワークサイトの運営及び「やまゆりニュース」及び「あさお・ふれんず」による市民活動の情報提供・発信 ・市民活動相談窓口の運営(相談件数:55件) ・新しいコミュニティづくりに資する市民活動への助成(6団体)	市民主体の中間支援組織が運営する麻生区の市民活動支援の拠点として、「やまゆり」を通じ市民活動支援を継続していく必要がある。今後は、30年度末に策定予定の「(仮称)今後のコミュニティ施策の基本的考え方」も踏まえ、やまゆりの特性を生かした区レベルの中間支援について検討していく。
30	継続	町内会事業提案制度事業	813,000	842,935	地域振興課	地域住民相互のつながりや地域の課題解決力の強化を目指し、区内の町内会・自治会が行う地域課題解決等につながる事業を支援する。町内会・自治会から事業提案を受け、審査を経て、当該町内会・自治会に事業の実施を委託する。	百合ヶ丘勤労会防災啓蒙活動事業(百合ヶ丘勤労会)、見守りの会第5(新百合ヶ丘第5自治会)、ふるさわ元気塾(古沢町内会)、三井百合丘第二地区自治会災害等緊急避難の対応活動(三井百合丘第二地区自治会)、多摩美みどり町会コロナペーゼの会(多摩美みどり町会)、子育て家族の地域交流事業(柿生駅前町内会)、はるひ野駅前の花壇活動によるコミュニティ形成活動(はるひ野町内会)と7町内会・自治会から7事業提案が実施され、地域の課題解決方向上につながった。	地域の課題解決力強化や地域の活性化のために継続して実施する。
31	継続	麻生区地域功労賞事業	59,000	27,855	地域振興課	地域活動への関心を高めることを目的として、地域活性化に貢献している個人または団体を麻生区長名義で表彰する。	平成29年度に4個人、2団体を表彰した。	例年、受賞者が5件程度で推移しているため、今後も継続する。
32	継続	麻生区市民活動支援施設活用事業	8,349,000	8,298,515	地域振興課	当該施設は、新百合ヶ丘南口・旧あさひ銀行ランド跡地の土地利権転換に伴い、応分の負担として開発業者が「市民活動の拠点施設」を整備することが決まり、平成19年4月に市に客贈され、供用開始した。当該施設を多目的な市民活動の拠点施設として整備するとともに、市民の主体的な運営参画を実現することにより、市民活動の一層の推進を図る。	・市民活動の「場」の提供(会議室の平日昼間稼働率:91%)	麻生区の市民活動の拠点として、多くの市民活動団体に活動の場を提供するなど成果を上げてきており、引き続き事業を継続して支援を実施していくほか、開館から10年が経過していることから、計画的な設備の修繕等についても検討していく。
33	継続	麻生区多文化共生推進事業	373,000	268,698	生涯学習支援課	市民と協働により事業を実施する。多文化共生を題材とし、麻生区在住の外国人市民との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深める。次世代を担う子どもの参加できる事業や、多文化共生社会への関心が強い市民に対して興味を持てるような事業を企画しながら、麻生区内において多文化共生社会の実現を目指す。	・12月9日に多文化交流フェスタを実施した。 ・前年度までの連続講座形式による国際理解講座はリピーターが多く、参加者が回を重ねることに関心のある一部市民に備る傾向があったため、興味関心を持つ市民の裾野を広げるためにフェスタ形式の交流会を実施し、その中で国際理解講座も同時に実施した。また広報も町会に配布するなど協賛し事業告知を行ったこともあり、事業実施回数を1回としたことで参加延べ人数は減っているが、新たな参加者の幅が広がった。	日本人市民向けのみならず外国人市民に向け発信する多文化啓蒙事業を取り入れる予定。
34	継続	市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業	320,000	320,000	生涯学習支援課	地域人材育成及び発掘による、市民活動・地域活動の活性化を図るため、外部団体への事業委託により、市民活動を支えるため、多様な分野で活躍する人材や地域課題解決のための人材育成など、総合的な視点に立った人材育成を図る。なお、本年度は区内の市民活動団体をデータベース化した検索サイトが稼働したため、その運用と検証を行っている。	地域人材育成を目的に、市民活動データベースを平成29年4月1日に運用開始し、当初260件の登録数が登録促進のための研修等を行った結果、46件登録数を増やし、目標数を達成することができた。また、区内関係機関の相談員交流会を開催したことにより、相談員体制の連携強化につながった。	稼働直後であるため、今後運用状況を検証しながら改善を検討していく。
35	継続	区民祭開催経費	260,000	260,000	地域振興課	住みよい街づくりを目指し麻生区民の連携を深めながら、毎年10月第2日曜日に開催されています。41団体により実行委員会が構成され、各町会・自治会や協賛企業の協力もあり、区民手作りのまつりとして地域に定着しています。	10月8日 第35回あさお区民まつりの開催	町内会・自治会をはじめとする多くの団体が開催へ向けて尽力し、麻生区統一のイベントであることから、今後も円滑な開催を図っていく方向です。
36	継続	麻生区市民提案型協働事業	2,602,000	1,397,989	企画課	地域課題の発見と解決を図る新たな提案型事業を公募し、事業選定審査委員会の意見をもとに事業決定する。決定した事業は、市民活動団体等の提案団体と協働の理念にのっとり、事業を委託して実施する。	・各所管課と連携して適切な事業運営を行った(協定、契約、予算執行、その他連絡調整など)。 ・今年度事業の中間報告及び3月12日に今年度実施事業の報告会を行った。 ・提案事業の実施スケジュールや審査基準について、関係所管課・機関や審査委員とも協議の上、検討を行った。 ・公募条件等について見直しを行った上で、30年度事業の公募・選定を実施した。 ・審査委員の任期がH30年2月までであったため、委員の任期更新及び新規委嘱を行った。	現状、区から団体への委託事業という形で募集しているため、利益を出す事業に対して直接の支援ができず、事業の継続性という面からは効果が乏しいものとなっていることから、提案事業が制度の枠組みから外れても、団体が事業を自主財源で運営できるように、制度の見直し・改善が必要であると考えられます。

7 スポーツのまち麻生推進事業

37	継続	スポーツのまち麻生推進事業	2,660,000	2,676,733	地域振興課	川崎フロンターレ麻生グラウンドをはじめとした、区内のさまざまなスポーツ資源を活用した事業を実施・支援するとともに、麻生スポーツセンターを核として、地域のスポーツ関係団体の活動の支援や情報交換を通して、魅力あるスポーツのまちづくりを推進する。	・平成30年3月28日(水)スポーツ・健康ロードボールウォーキング体験会ほかスポーツ体験イベント、教室を開催 ・平成28年7月5日(火)第1回スポーツのまち麻生推進会議開催 ・平成29年2月25日柿生地区総合型地域スポーツクラブGET設立 ・麻生スポーツフェスティバルにおいて10団体14大会のスポーツ大会を支援	かわさきバラムーヴメント推進ビジョンの策定に伴うバラムーヴメントの全庁的な取組の推進及び平成29年度の川崎市スポーツ推進計画の改定を受けて、障害者と健常者が一緒に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催など、これまでの地域資源を活用した地域スポーツの推進の継続と、さらなる取組を推進する必要があります。
----	----	---------------	-----------	-----------	-------	--	---	--

8 地域課題対応事業その他事業

38	継続	事務費等共通経費	1,500,000	1,251,281	企画課	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等の購入、郵便料、複写品費等を確保する。	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等を購入した。また、郵便料、複写品費等を適正に執行した。	需用費等について見直しを行いながら、引き続き計画的に執行していく必要があると考えられます。
----	----	----------	-----------	-----------	-----	---	---	---

9 区役所サービス向上事業

39	継続	区役所窓口等サービス充実改善事業	4,940,000	3,853,805	区民課	区役所サービス向上指針に基づき、市民に便利で快適なサービスの効率的、効果的かつ総合的な提供を図り、市民の視点に立った区役所サービスの充実を推進する。	・TV通訳システム(利用26件)により、外国人市民等へのサービスを提供した。 ・混雑時に窓口案内を配置し、適切な誘導を行った。 ・区役所内の壁紙を修繕し、快適に利用できる環境整備を行った。 ・区民サービスの充実に向けた接遇研修・クレーム対応研修(3回)を実施した。	市民の視点に立ったサービスの向上のため、市民ニーズ把握を常に行之い、継続的に課題の発見と改善に取り組む必要がある。
40	継続	区政・地域情報提供事業	540,000	70,560	企画課	区役所職員の広報・広聴業務に関するスキルアップを図り、区民にとってわかりやすく親しみやすい広報・広聴活動を行う。	・ホームページの更新 ・麻生区役所職員を対象に広報・広聴研修を開催	「川崎市シティプロモーション戦略プラン」の方針を考慮しながら、区の広報広聴推進のあり方や広報研修の内容を検討し、引き続き、市民に対する効果的な情報提供などのあり方を、実務を通じて検証していく。

10 区の新たな課題即応事業

41	継続	区の新たな課題即応事業	5,000,000	2,298,272	企画課	年度途中に発生する新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業を実施する。	・麻生区災害対策本部各班用地園バネル作成業務委託 ・麻生市民館における利用促進のための活動用具保管場所設置事業 ・地域包括ケアシステム推進に向けた備品調達	引き続き、次年度も、年度途中で区の新たな課題が発生した場合は、所管課や関係局と調整し、迅速な対応を行い、事業を実施していく。
----	----	-------------	-----------	-----------	-----	--	---	--

合 計			69,548,000	59,520,539				
-----	--	--	------------	------------	--	--	--	--